



校長室だより

校長 山崎 聡子

1年生の遠足

9月27日(金)に、小学校に入学してから初めて全員でバスに乗り、遠足を実施しました。場所は伊勢原市立こども科学館です。こども科学館では、科学の不思議さについて様々な活動を体験しながら楽しく学ぶことができるとてもすてきな場所でした。

子供たちは、とても落ち着いていて、すばらしい姿をたくさん見せてくれました。その一つとして、あいさつを自分から進んで行う姿がありました。こども科学館に到着し、バスを降りるときに、バスの運転手さんに「ありがとうございました」という言葉を自分から進んで伝えていました。また、車の通行に注意しながら子供たちの動きを誘導する私に「校長先生、ありがとうございました」と、私の目を見て言葉をかけてきた子もいました。あいさつをしたら返すという動きを大切にしたいと思っていますところですが、相手に心を向けて自分から言葉をかけることができる姿に心が温まりました。他にも、トイレに並ぶ入り口の真ん中にリュックが置いてあったので、人が通りやすいように端に移動したところ、トイレの奥の方で並んでいた子が、「ありがとうございました」という言葉を伝えるために出てきました。言葉を伝えるにきた後に、また奥の方に戻って行きました。友達から私がリュックを移動したことを聴いて、お礼を伝えるにきたのだと思います。その姿もすばらしい姿でした。

帰りの支度の中では、シートの片づけに困っている友達の手伝いをしている子がいたので様子を見ていると、できるところは敢えて

手をかさずに優しく見守っている姿がありました。相手の動きに合わせて行動している姿がすばらしいなあと思いました。

毎日の生活の中で積み重ねていることが、日常を離れた場所でも同じように行動することができることにつながるのだろうと思います。日々の関わりを大切にしていきたいと改めて思いました。

帰り道では、微笑ましい姿がありました。帰り道の途中にあるお地藏様に、手を合わせてお祈りしている子がいたので、何を祈っているのか聴いてみると、みんなの幸せを祈っていることを教えてくださいました。みんなというのは、家族はもちろんのこと、友達、そして生きているもの全てだということも話してくれました。自分の周りにある生命に目を向けて祈ることができる子供の心の豊かさに触れ、とてもうれしい気持ちになりました。

無事に遠足を行うことができたのも、遠足に向けて、事前の準備や早朝から子供たちのお弁当の準備をしてくださった保護者の皆様のおかげです。感謝申し上げます。

思いやりプロジェクト

児童会が中心となり、6年生の支えや全校の協力の中で取り組んでいる思いやりプロジェクト。お互いの良さを見つけ合い、思いやりあふれる木がたくさん飾られています。お互いに弱さを抱えている不完全な人間同士だからこそ、みんなで支え合い、助け合い、よりよい方向に向かっていければと思います。

